



童名不動丸或源太從四位下陸

奥守號金迦羅殿鎮守府將軍

〔太平記 十八〕瓜生舉旗事

瓜生判官保足利尾張守高經ノ手ニ屬シテ、金崎ノ責口ニアリ、略中折節陣屋ヲ雙ベテ居タリケル、宇都宮美濃將監ト、天野民部大輔ト寄合シテ、四方山ノ雜談ノ次ニ、家々ノ旗ノ文共ヲ云沙汰シケル處ニ、誰トハ不知末座ナル者、二引兩ト大中黒ト何レガ勝レタル文ニテ候覽ト問ケレバ、美濃將監、文ノ善惡ヲバ暫置ク、吉凶ヲ云者、大中黒程、目出キ文ハ非ジト覺ユ、其故ハ前代北ノ文ニ、三鱗形ヲセラレシガ滅ビテ、今ノ世二引兩足利ニ成リヌ、是ヲ又亡サンズル文ハ、一引兩氏家紋ニテコソアラシメト申ケレバ、天野民部大輔勿論候、周易ト申文ニハ、一文字ヲバ、カタキナシト讀デ候ナル、サレバ此御文ハ、如何様天下ヲ治メテ、五畿七道ヲ悉敵無世ニ成ヌト覺エテ候ト、文字ニ付テ才覺ヲ吐ケレバ、略中

〔旗紋引兩之字義〕太平記十四卷新田足利確執奏狀ノ段略中

以上一文字ヲ一引兩ト云ヒ、二文字ヲ二引兩ト云ヘルノ證ナリ、略中白石軍器考ニ云、新田

大中黒ハ、日ノ字ニ象リ、足利ノ二引兩ハ、月字ニ象レリ、其本兩家ハ、嫡男ト二男家ナル故ニ、

日月ノ二象ヲ分ツテ、旗ノ文ト成シタル由見エタリ、但シ如何ナル故ヲ以テ、日月ノ字ヲ用

テ、嫡家ト二男家ト分ツテ、旗ノ文ト爲タルト云事ハ記サレズ、猶可尋明事ナリ、

右一ツ引兩、二ツ引兩ト云事、引兩ノ義詳ナラズ、或說ニ云、横ニ黒ク引タルヲ龍蛇ノ形象ニト

リ、上天騰蛇ノ勢ニ據レリト云フ義ニテ、一ツ引龍、又二ツ引龍ノ謂ヒヲモテ、引龍ノ龍ヲ兩ニ

書クハ、假字ノ借字ナリト云ヘリ、略註然レドモ此引龍ト云フコト、舊記ノ據ルベキ事ナケレ

バ、信用シガタキモノ也、謹デ考ルニ、略大塚引兩ノ兩字ハ、靈字ノ義ニテ、引靈ナリ、其據ルトコ